

6. 古典資料の保存と利用

筑波大学 人文社会系 准教授

山 澤 学

はじめに

「古典資料」：筑波大学附属図書館の場合、

和装古書：江戸時代（1868）以前あるいは清代（1911）以前製作の資料。また、これらを影印・復刻した和装幀の資料等。歴史史料（古文書）も含む。

貴重書：慶長（1596～1614）以前製作の和書，明代の正徳（1506～21）以前刊本あるいは清代（1911）以前写本の漢籍，李朝期（1900）以前製作の朝鮮書，1850 年以前製作の洋書。歴史史料（古文書）も含む。

明治以降教科書：明治以降から戦前の初等・中等教育用教科書。

→本講義では、和紙を料紙とする「日本」の古典資料の保存と利用を講ずる。

1. 古典資料と所蔵機関の役割

(1) 所蔵状況

- ① 配架濟 ② 購入 ③ 寄贈

(2) 所蔵機関の役割

cf. 博物館・美術館 (Museum)。文書館 (Archives)。

- ① 研究（学術的・書誌学的価値）
② 整理（登録作業） ※ 捺印・書き込み・糊付き図書ラベル貼付を避ける。
③ 保存（配架・修復・管理）
④ 利用・公開（閲覧供用・展示・貸出）

2. 古典資料の取扱い —原形保存の原則—

(1) 閱覽前

手の洗浄・消毒，手袋。閲覧機の整理整頓。筆記用具（鉛筆のみ使用→消しゴム使用不可。鉛筆削りも必要）。資料の現状確認（員数・虫損・剥離の状況など→状態によって閲覧不可の判断もありえる）。照度。

(2) 閲覧中の禁止事項（物理的改変の厳禁）

飲食・喫煙。指をなめること。指サック。書き込み。セロテープ・糊付き付箋紙（→和紙または中性紙の付箋を用意）。輪ゴム（→紙縊りを使用）。金属製のステープラー針・クリップ。金属製メジャー・定規（→布製・ビニール製メジャー、竹制定規を用意）。

資料の押し広げ、伏せ、重ね（←資料破損の原因）。折り方・綴じ方・貼紙・挟み物の改変。
アイロン。強い光源。コピー。トレース（重ね写し）。

(3) 閲覧後

員数・破損有無の確認。元の保管場所への返却。

保管環境調査（温度 20 度・湿度 45～65%・空気質）。

中性紙素材の保護材（箱・封筒・帙）を使用（酸性紙は、長期的には酸が資料に転移し、汚損・破損の基になる）。ある程度の紫外線・湿気・虫害による劣化防止。

殺虫・防虫（燻蒸）。できるだけ化学薬品の使用を回避（使用する場合には混用厳禁。cf. 樟脳・ナフタリン・パラジクロロベンゼン）。カビ・菌・害虫発生をコントロール。

修復（綴じ直し。裏打ち補修。糊付け（伝統的な薄めの生麩糊を使用））。

3. 古典資料の電子化

(1) 原本保護の観点からの複製 —利用は破壊？—

マイクロフィルム化から電子化へ。→複製物による閲覧の推奨。

紙質・厚・折り目・角筆・爪印・墨色・彩色の詳細な確認は原本でしかできない。

(2) 電子化資料の公開と課題 —電子化は万能？—

各種フォーマットの存在（高精細（容量）、転用・印刷制限）。

著作権処理：TPP 交渉のゆくえ（50 年→70 年？）。

パブリック・ドメインと所蔵権：影印・翻刻・写真掲載の許可制。

ex. 国立国会図書館サイトポリシー（2014 年 5 月 1 日改訂）

（http://www.ndl.go.jp/jp/attention/index.html#web_repro, 平成 26 年 6 月 11 日参照）

「国立国会図書館デジタルコレクション」「近代デジタルライブラリー」に掲載された著作権保護期間満了の電子化資料、および電子展示「デジタル貴重書展」「日本の暦」「近代日本人の肖像」「写真の中の明治・大正」「国立国会図書館 60 周年記念貴重書展」中の電子化画像は、転載手続き不要に。

4. いわゆる古文書の書誌 —歴史学の「史料」と図書館の「古典資料」のデータベース—

(1) 書誌データベース公開の効用

従来の冊子体では難しかった、詳細な書誌の公開。多様なニーズに応じる各種データベースの出現。10 年前には想像できなかったデータ処理が可能に。機関による抽出データの精粗。

(2) 歴史学・史料学（古文書学）と図書館学・書誌学との微妙な関係

① 史料学における文書・記録の目録項目

整理者、史料群ごとに多様な整理・分類法。

表題：古代・中世は様式による命名。

ex. 太政官符。足利義満御判御教書。

近世は史料記載の原表題主義・内容表題。

ex. 乍恐以書付奉願上候（由緒につき）。

形態：一紙（ないし継紙）・状・紙・堅紙。単位は通・枚；冊物・堅帳（ないし横帳・横半帳）。

正文，写，控，案文，土台・下書，版本。右筆による本文と意志の主体または奉者の自署。

② 書誌学による古典資料の書誌項目

NDC あるいは『国書総目録』補訂版（岩波書店，1989-1991）などに従った整理。

写本（Manuscript）と版本（Woodprint）。

(仮番号)

知 144199

31741

3 214

142

表 題	日光御社参 松戸宿当分助郷帳 (下総国葛飾郡38ヵ村より勘定奉行宛て請書) 松戸宿問屋次郎右衛門控	作 成 者	下総国葛飾郡中矢切村 名主 次郎左衛門 他110名
年 代	(西暦 1776年) 安永 5 年 3 月 日	宛 先	安藤弾正少助 (雄要、勘定奉行) 石谷豊前守 (清昌、勘定奉行)
摘 要	・ 原本 ・ 印記「蔵松堂古典部波多壁扱斯書」(波多野重太郎) ・ 法量 29.8×19.5 墨付15丁、表紙後補(外題未記入) ・ 虫損(裏打ち補修済) ・ 昭和8.10.20購入(東京文理科大学国史学研究室より有) ID:10076731885	形 状	冊 ③ 横 横半 状 包紙 絵図 ()
所 在	茨城県つくば市天王台1-1-1	数 量	冊 ③ 綴 舗 通 枚 ()
		文書名	筑波大学附属図書館所蔵 (松戸宿問屋旧蔵)

〔筑波大学古文書研究会〕

整理者

図 1 筑波大学人文社会系(歴史・人類学専攻)における古文書用整理封筒の記入例

《 主要参考文献 》

大石学監修；太田尚宏・保垣孝幸・中村大介編『古文書解説事典：文書館へいこう』改訂新版（東京堂出版，2000）。

大阪府立中之島図書館編「古文書の話」（<http://www.library.pref.osaka.jp/site/osaka/about-komonjo.html>，2014年2月1日更新，同年6月11日参照）。

群馬県立文書館・群馬県市町村公文書等保存活用連絡協議会編『史料保存の手引き』（<http://www.jsai.jp/linkbank/tmpdata/gunma1.pdf>，2014年6月11日参照）。

佐藤進一『古文書学入門』新版（法政大学出版局，2003）。

地方史研究協議会編『歴史資料の保存と地方史研究』（岩田書院，2009）。

日本歴史学会編『概説古文書学』古代・中世編（吉川弘文館，1983）。

日本歴史学会編『概説古文書学』近世編（吉川弘文館，1989）。

松井敏也・篠塚富士男「筑波大学附属図書館における環境調査の取り組み」（『情報メディア研究』8巻1号，pp.1-10，2009。<http://hdl.handle.net/2241/102873>，2014年6月11日参照）。

検索結果詳細 : 図書等

「所在」をクリックすると配置図または状況についての説明が表示されます。

 をクリックすると全文が表示されます

ブックマークを追加すると検索結果をダウンロードしたり、電子メールで送信することができます
「予約・取り寄せ」をクリックすると、貸出中の図書の予約や、筑波地区 ↔ 東京地区の図書取り寄せを申し込むことができます

日光御社参松戸宿当分助郷帳

ニコウ ゴシャサン マツドジュク アテブン スケゴウチョウ

[製作地不明] : [製作者不明], [1---]

所蔵:

	巻号	所在	分類	資料ID	資料タイプ	状況（返却予定日）	コレクション	備考	予約・取り寄せ人数
1		中央和装	ヨ214 142	10076731885	和装古書				0

刊年 : 1---

形態 : [16] 丁 ; 29.8×19.5cm

別書名 : 松戸宿当分助郷帳 : 日光御社参

注記 : 稀覯本につき記述対象資料毎に書誌作成

写本

書名は書き外題より（「日光御社参」部分は二行書き）後補の表紙、後表紙あり（後補の表紙に外題なし）

帙の書名: 松戸宿当分助郷帳

後表紙に「松戸宿」「問屋次郎右衛門」とあり

墨付15丁 巻末に白丁1丁あり

印記: 「巖松堂古典部波多埜扱斯書」（波多野重太郎）

保存状態: 虫損あり（裏打ち補修あり）

標題言語: 日本語 (jpn)

本文言語: 日本語 (jpn)

分類 : CAL:ヨ214

NCID : BA53123476

Copyright © 2004-2013 RICOH COMPANY, LTD. All Rights Reserved.

図 2 筑波大学附属図書館における古文書の登録例

(<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/mylimedio/search/book.do?target=local&bibid=972657>,
2014年6月11日参照)